

霧島市文化協会

会報きりしま

2026年3月31日

第20号

発行：霧島市文化協会会長 地蔵原 勇
事務局：霧島市スポーツ・文化振興課内



劇団「夢飛行プロジェクト」



英流 聖智乃会



社交ダンス国分



ビッグバンド サウンドルーチェ と 混声合唱団グリーンエコー

第54回 霧島市文化協会国分支部 令和7年11月3日 国分ハウジングホール



日本太鼓ひびきの会



藤間流 花舞会



鳳栄流 鳳栄美章会



カマヌケアラニ

ナレイ モキハナ国分

つながる文化 つなげる芸術



会長
地蔵原 勇

本年度より会長を拝命いたしました。前会長、故・瀬戸口浩先生の志を受け継ぎ、その歩みに恥じぬよう職責を果たしてまいります。

さて、旧1市6町それぞれの支部では、今年度も地域の特色を生かした活動が展開され、地元の皆様が心待ちにされている展示や舞台発表も盛会のうちに実施されました。

地域に息づく伝統文化や芸術活動は人と人を結び、まさに潤いと誇りをもたらす大切な財産です。

当協会では、多様な分野の団体が力を合わせ、市民の皆様が文化に親しみ、学び、発表できる機会の充実に努め、霧島市の文化振興に尽力してまいります。

しかしながら価値感の多様化や人口減少の影響による会員減少、会員の高齢化や若者の参加減少などの課題も顕在化しており、その解決は急務です。

持続可能な組織運営に向け次世代の育成と参加しやすい環境づくりを進めてまいります。

今後とも、ご支援をお願い申し上げます。

あいさつ



霧島市長
中重 真一

霧島市文化協会「会報きりしま」第20号の発刊を、心からお喜び申し上げます。日頃から本市の文化芸術の振興と発展にご尽力いただいております貴協会の皆様に、深く敬意と感謝の意を表します。

文化芸術は市民生活に潤いと活力をもたらす大切な存在です。貴協会の活動は、世代を超えた交流を生み出し、地域の絆を深める大切な力となっております。

また、会報の発行は、会員の皆様の成果や取組を広く共有するとともに、市民の皆様へ文化の魅力を伝える大変意義深いものです。

本市は昨年11月の市制施行20周年に当たり、「NHKのご自慢」など様々な記念事業を展開しました。これを契機に、これからの10年、20年、さらにその先に向けて、より一層魅力的なまちづくりの実現に邁進してまいります。

今後とも、本市の文化振興の担い手としてのご活躍をご期待申し上げますとともに、会員の皆様のご健勝と貴協会の更なる発展を心から祈念し、あいさついたします。

あいさつ



霧島市議会議員
徳田 修和

やわらかな日差しに包まれ、草木の芽吹きに春の訪れを感じる季節となりました。このような折、霧島市文化協会「会報きりしま」第20号の発刊を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。

第20号という節目は、文化協会の皆様が多岐にわたる活動を重ねてこられた証であり、歴史の中に、常に文化の灯がともされ続けてきたことを、あらためて実感いたします。

各支部におかれましては、20周年を機に記念文化祭を開催され、地域文化の魅力を広く発信されました。創意工夫あふれる取り組みは、市民の心を潤し、地域の絆を深める力となりました。

文化は楽しむことから生まれ、広がっていくものであります。会員の皆様には、これからも活動を思いきり楽しみながら、霧島の文化を次代へとつないでいただきたいと願っております。

市議会といたしましても、文化が市民生活の中に息づく、さらに豊かに花開くよう努めてまいります。結びに、文化協会のますますのご発展と会員各位のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

【横川支部】

支部文化祭を大隅横川駅で開催してから六年が経ちました。本年度も会員及び町内の小・中学校の生徒さんの作品展示やから揚げ・ポテト及び横川正丸屋さんの出店、大隅横川駅保存活用実行委員会によるフリーマーケット、横川図書室で廃棄予定の本も並ぶなど会場は、心もおなかも満たしてくれました。そして、今回は会場にメダカすくいを設け、来場していただいた皆さんが袖を濡らしながら、一回百円でお目当てのメダカをらしそうにすくい上げ、持ち帰られました。当日は天気にも恵まれ、皆様のご協力をいただき、無事に二日間開催することが出来ました。



【牧園支部】

牧園支部では文化祭実行委員会を4月に立ち上げて始動、みやまコンセルや県立霧島高校との打合せも綿密に行いまして、11月16日の本番を迎えました。

当日は市長・市議会議員選挙投票日でしたが、関係者を含めて390名のお客様にお越しいただきました。今回も霧島高校の皆さんのボランティア協力をいただき、また、舞台での演奏も披露していただきました。

展示発表には、昨年好評でした「牧園つるし雛すみれ会」の展示と溝辺支部より「創作文字」の展示、舞台発表

は、会員皆さんの日頃の練習の成果を披露、交流出演は国分支部の「レ・エトワールバレエスクール」の華麗なダンスを披露していただき、大変盛り上がりました。

令和8年の文化祭は11月15日に開催です。



【霧島支部】

今年度は少し早い九月開催となりましたが市長様・市文化協会会長様・事務局長様のご臨席を賜り、恒例の霧島中学校吹奏楽部の生徒・保護者・指導者が一体となった楽しい演奏で開幕しました。今回、市文化協会より音響設備の助成を頂き素晴らしい音響の中で会員は日頃の練習以上の成果を発揮できました。心より感謝申し上げます。

会員数減や高齢化により文化祭の在り方を模索していた時、交流型文化祭となり隼人支部の三味線演奏、地区郷土芸能の棒踊り、司書会のパネルシアター、小中学生・園児・高齢者施設の作品展など内容を増やしましたところ例年以上に盛り上がり、来場者も増え好評でした。

今後も他支部との交流を推進しスローガンの「ふるさとに湧いて流れる文化の灯」を継承していきたいと思っています。



【溝辺支部】

令和7年度は、加入が2団体、退会2団体でスタートしました。支部最大のイベント文化祭は、今年も自公連主催の秋祭りと同日開催となり、好天に恵まれて共に盛り上がりました。また、今年の文化祭は、支部間の交流を目的とする交流文化祭を兼ねており国分支部からリトルバレエスタジオ、牧園支部のアンダンテに出演頂き、例年よりも新鮮な舞台演出になりました。展示場では、幼稚園保育園、小中学校の作品、創作文字、生け花等で見応えのある素晴らしい展示でした。



【隼人支部】

令和7年度隼人支部は、5月8日の総会において、25団体415名のスタートになりました。少子高齢化が愈々現実的になり会員数の減少が厳しい状況ですが現会員が力を合わせて、市民の皆様元気と笑顔を届けて行きたいと思っております。

「第67回隼人支部文化祭」は、10月26日、隼人中学校ブラスバンド部の演奏でオープニングを飾って頂きお客様に喜んで頂きました。

また、8月の大雨による災害で被害に遭われた皆様には、早急な復興と穏やかな日常が訪れますように心からお祈り申し上げます。



【国分支部】

7年度国分支部は、加入団体の減少が続いていましたが、4団体数、92名会員数増となり嬉しく思います。主な行事は、春のチャリティーショー、夏の展示会、秋の文化祭を実施しました。その際は、チャリティー募金を募っています。今回は、霧島市大水害で被災された皆様にと、社会福祉協議会に寄付を行いました。また、前瀬戸口支部長の後任として緒方祐二が任命を請けて新たに役員体制がスタートしました。

皆様方のご支援・ご協力よろしく申し上げます。



ルナ フローラ バンの花教室



菊同好会



竹細工和竹会



竹細工 和竹会 ワークショップ

【福山支部】

福山支部では、令和7年度が、市政施行20周年という節目の年になることから、これを記念して福山文化祭を開催しました。

今年度は、市芸術祭が行われないということで、文化祭において支部間の交流を図ることになりました。福山支部では、これまで、隼人支部の団体（日本舞踊）と交流を図ってきましたが、今年度は、これに加え、隼人支部の若樹会（箏曲）にも協力をいただいで実施し、一層の交流を図りました。

オープニングでは、部員減少で、ここ何年か出演がかなわなかった福山高校吹奏楽部が、校長とともに出演くださり、舞台を大いに盛り上げてくださいました。

展示発表においても、地区内外の皆様の協力により、様々なジャンルの作品を展示することができ、会場はにぎわいを見せました。

福山支部では、今後も、地域や関係団体等と連携しながら、文化祭の充実に努めてまいります。

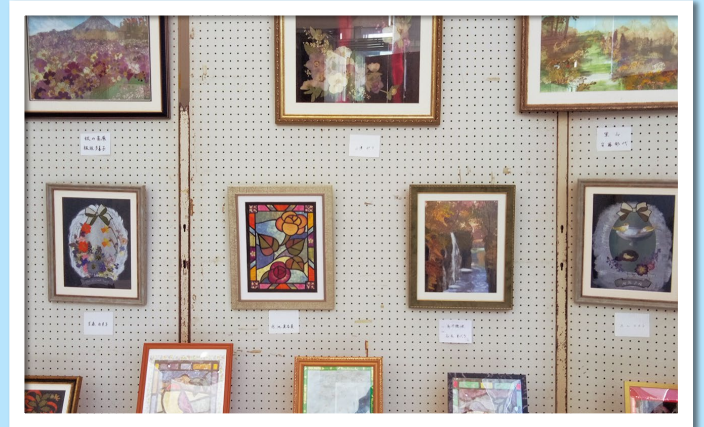


第20回 霧島市芸術祭展示発表

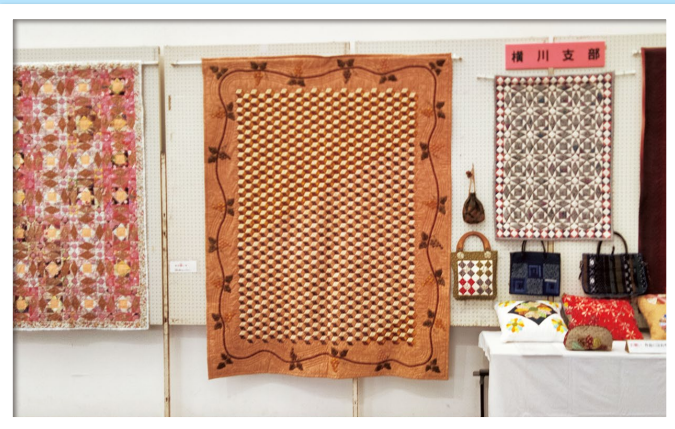
【令和7年11月30日～12月6日霧島市民ギャラリー】



展示会場



国分支部



横川支部



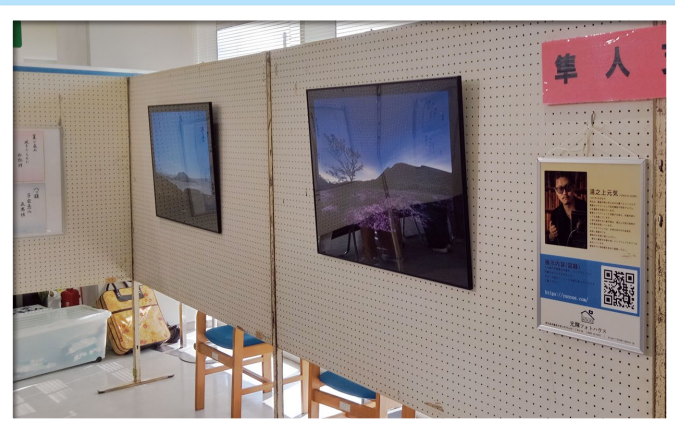
溝辺支部



牧園支部



牧園すみれ会



隼人支部



霧島支部

文芸作品

にしき江短歌教室

家畜からペットになりたる山羊たちが
令和の平和を反芻しをり

児玉 久

晩秋の陽は柔らかに傾きぬ
静かにわれを夢へ誘ひ

中馬 圭

しんしんと呼吸する音聴こえくる
色づく森の美しき樹々たち

横山 明美

大相撲 縁のゆかりもなければ
精一杯の拍手をおくる

若松菜々子

千年の旅の彗星に見えむと西
空を仰ぐ今世の縁に

西迫富美子

霧島俳句同好会

春の星母の顔見て日帰りす
夏めくやビルの谷間の寄席囃子

ハケ代典子
徳丸 道明

冬晴れを大皿に盛る陶器市
走り根に宿る月光奥の院

松元 明子
山内 幸子

星合や金平糖のすべり落つ

マンツェル・マコ

隼人俳遊会

秋夕暮独り歩きの七千歩
雲浮かぶ開聞岳に秋の風

庭 女
宇都山

炉開きの香 匂ひたつ四畳半
安芸灘に光る風してみかん舟

勝 目
竹麻呂

晩秋の明けのビーナス煌々と

理風人

第21回きりしま

美術大賞展

霧島島市文化協会の共済事業である「きりしま美術大賞展」が7月に開催されました。一般部門249点、ジュニア部門2,943点の中から、審査により入賞158点、入選457点が選ばれ、展示会場のシビックセンターには多くの方が訪れました。

【霧島市文化協会賞受賞作品】

● 自由部門

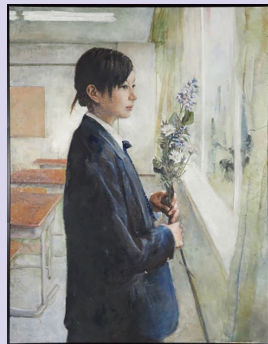
『5月の教室』

二木 恵利華(霧島市)

● テーマ部門

『国分図書館』

須下 広光(霧島市)



『5月の教室』
二木 恵利華(霧島市)



『国分図書館』
須下 広光(霧島市)



『園庭で見つけた虫たち』
みやはら みらん(なかよしこども園)



『バーベキューをしたよ』
岡留 源(富隈小学校)



『お仕事がんばれパパ(教頭先生)』
赤崎 陽菜(持松小学校)



『私の好きな場所』
橋口 莉央(舞鶴中学校)

● ジュニア部門(幼児の部)

『園庭で見つけた虫たち』

みやはら みらん(なかよしこども園)

● ジュニア部門(小学校低学年の部)

『バーベキューをしたよ』

岡留 源(富隈小学校)

● ジュニア部門(小学校高学年の部)

『お仕事がんばれパパ(教頭先生)』

赤崎 陽菜(持松小学校)

● ジュニア部門(中学生の部)

『私の好きな場所』

橋口 莉央(舞鶴中学校)

民芸保存会・公民館講座
意見交換会(第2回)

文化協会の活動方針には、各種文化団体と情報交換を図る目的があり、先の団体と意見交換会を開催した。

市担当課、議員連盟、当会を含め総数34名の出席があり、意見続出し、文化行政へ要望が多いと知る機会を得た。

施設の不備、活動予算の不足、情報発信の指導等、課題は各団体共通で更に深い議論が必要と感じた。

初対面の人が多いので自己紹介に一人1分としたが、多大な時間を要した。(反省点)(令和7年7月17日国分公民館)



第12回霧島市文化講演会

「霧島の地形とその成り立ち」を鈴木順一先生に講演して頂きました。3万年前の始良カルデラの地形や周辺の滝の特徴、河川の甌穴、断層と温泉の関係、極めつけは、山ヶ野金山跡の採掘ツアーなどワクワクする内容に会場は大いに盛り上がりました。(8年1月11日多目的ホール)



溝辺支部50周年記念事業

溝辺支部の前身である溝辺町文化協会から数えて創立50周年を迎え令和7年10月4日溝辺コミュニティセンターで祝賀会を開催しました。また50周年事業の一環として制作した看板は準人工業高校デザイン科の協力と創作文字の増田先生に構図をご提案頂いて歴史を飾る貴重な素晴らしい看板を設置しました。



始良地区文化協会
連絡協議会

始良地区文化交流事業、文化芸術祭は、準人支部から花舞会の舞踊、湯之上写真クラブの展示作品が参加しました。湧水町、霧島市始良市の情報交換を続けています。(7年12月7日始良市文化会館)



編集後記

- ▼三顧の礼でお迎えした地蔵原勇会長は、温厚篤実ながら行動力に溢れ、文化活動の強力なリードオフマンです。
- ▼横川支部は、展示作品パッチワークの大作が見事です。
- ▼牧園支部は、チームワークが取れていて組織力抜群です。
- ▼霧島支部は、郷土芸能田口棒踊りが復活、見応え十分です。
- ▼溝辺支部は、幼稚園、小学校と連携して展示が見事です。
- ▼準人支部は、地元行事の重複を回避しようと、文化祭の開催日程の見直しを進めています。
- ▼国分支部は、観客動員を増やそうと、U18の出演演目に創意工夫を感じました。
- ▼福山支部は、神楽舞、福山小唄など地域性豊かな活動に取り組んでいます。
- ▼第12回文化講演会は「霧島の地形とその成り立ち」の演目で鈴木順一様の講演でした。
- ▼公民館講座講師&民芸保存会代表者の合同意見交換会は、2回目の開催でした。高齢化による会員不足は共通の課題です。

(文責 内山竹文)